

横芝光町

●千葉県横芝光町

低炭素社会の実現に、早くからヒートポンプ蓄熱システムを導入

【贈呈理由】横芝光町学校給食センター新設および東陽病院給湯リニューアルにおけるエコキュートの導入



横芝光町学校給食センター

2006年3月27日、横芝町と光町が合併し「横芝光町」が誕生した。横芝光町は千葉県北東部に位置し、中央部には九十九里平野最大河川の「栗山川」、北部には国指定史跡「中台古墳群(なかだいこふんぐん)」や国指定重要無形民俗文化財「鬼来迎(きらいごう)」、南部には雄大な九十九里浜が広がるなど、豊かな自然や文化の恵みに溢れている。

同町では安全性や省エネルギー・省コストを目的として、早くからヒートポンプ

蓄熱システムの導入に取り組んでおり、1994年に横芝光町立図書館で水蓄熱式空調システムを導入し、04年には横芝光町役場庁舎においてもエコ・アイスを導入している。

また11年には、これまで町内2カ所にあった給食センターをひとつに統合した「横芝光町学校給食センター」を新設。給湯設備に業務用エコキュート採用のオール電化・ドライキッチンシステムを導入した。当システムの導入により、厳格な衛

生管理と快適な作業環境の実現が可能となり、「安全・安心」で「質の高い」学校給食の提供はもちろんのこと、地元食材を活用した「地産地消」を推進する重要な役割を担う施設となっている。

さらに、同年の町立東陽病院の更新においても、業務用エコキュートを導入するなど、継続した導入により、低炭素社会の実現に向けて実績を重ねている。

主な蓄熱システム導入実績

横芝光町学校給食センター 2011年
業務用エコキュート 40kW×4台(昭和鉄工)
貯湯槽:10m³×2台

横芝光町立東陽病院 2011年
業務用エコキュート 40kW×2台(三菱電機)
貯湯槽:4m³×2台

横芝光町役場 2004年・2006年
エコ・アイスmini 4馬力相当×5台・5馬力相当×21台・6馬力相当×8台(イース)

横芝光町立図書館 1994年
水蓄熱式空調システム 熱源機:空気熱源ヒートポンプ
チラー 228kW×1台(三菱電機) 蓄熱槽:390m³